

2023年11月7日

「我が国のグリーントランスフォーメーション実現に向けて」に対する意見

日本労働組合総連合会
芳野友子

社会全体のGXの推進と、良質な雇用創出の観点から2点申し上げたい。

1. 社会全体のGXの推進

- (1) 今回、「暮らしGX」と「産業GX」を加速化していく事が示されたが、社会全体のGXを推進していくためには、基本方針にある「公正な移行」の実現と「中小企業のGX」の推進が重要である。
- (2) 特に「公正な移行」の実現にむけては、政府内において分野横断的な体制が強化されたと認識してるが、今後は、産業台だけでなく、労働組合を含む地域の関係者との社会対話の場を設置し、複数のシナリオに基づく政策立案と課題解決にむけたロードマップを作成し、必要な予算措置についても検討いただきたい。
- (3) あわせて、GXによる産業構造転換にともなう中小企業労働者の「失業なき労働移動」の実現のためには、サプライチェーンにおける事業の予見可能性を高めるとともに、新規事業に対する国からの投資支援や地場企業の雇用に対する目配せなど、国・地域・サプライチェーンが協力し、複合的な支援ができる体制を検討し、中小企業のGX推進を促進すべき。

2. 良質な雇用創出

- (1) GX経済移行債の対応状況として「フレームワーク」の策定が示されたが、資金使途の選定にあたっては、「国内の人的・物的拡大」に資することも優先順位の対象としていただきたい。
- (2) この間、人的拡大の要件に、「グリーンでディーセントな雇用創出につながるもの」を明記いただきたいと要望してきたが、フレームワークには「4つの基本条件」は示されているものの、適格クライテリアと資金使途の例には、具体的な要件が見当たらず、除外項目に、強制労働と人権問題が記載されているのみであり、この点については是非対応いただきたい。

以上